

地域ベースのまちづくり活動

④地域ぐるみでおもてなし ～因島重井地域～

瀬戸内海国立公園に指定されている「白滝山」がある因島重井町では、地域の宝である「白滝山」を地域住民が誇りに思い、来訪者をおもてなしする取り組みをしています。

きっかけは？

因島重井町にある「白滝山」は昭和31年に瀬戸内国立公園に指定された景勝地です。

この地域では、地域の宝である「白滝山」を地域住民の誇りとして次世代に継承できるよう、白滝公園の整備、保護活動に取り組んできました。

人の営みが育んだすこやかで美しい里として、平成21年には、「にほんの里100選」に選定されました。これをきっかけに、より多くの人にこの地に訪れてもらおうと、地域ぐるみでおもてなしの事業をスタートしました。

どんなことをしていますか？



白滝山山頂での「秋の観音まいり」

区長会の役員経験者が「因島白滝公園保勝会」を組織し、地域の区長会や幼稚園児、小中学生、地域住民に積極的に声をかけながら、できることから活動しています。

例えば、来訪者が気持ちよく白滝山に上がれるよう、白滝山表参道（遊歩道）や山頂の清掃、雑木の伐採を行ったり、重井中学校生徒と協力して案内看板を設置したりしています。

また、市主催のイベントで多くの来訪者が期待される際には、イベント前に町内清掃活動を行い、当日は特産品でおもてなしをするなど、イベント自体を盛り上げるだけでなく、地域の魅力をPRすることで更なる来訪者を増やす取り組みを行っています。

よかったことは？

活動にボランティアで参加した中学生から「来年も手伝いたい。」「県外の人と出会い、たくさん話げできました。地元のことをPRしました。」といった感想を聞きました。

活動に参加している大人だけではなく、次世代を担う子どもたちにも、自分たちが生まれ育ったふるさとを誇りに思う気持ちが着実に育っていると感じています。



しまなみ縦走でのおもてなし

これから・・・

「白滝山」を地域住民の誇りとして次世代に継承できるよう、引続き、白滝公園の整備、保護活動に取り組んでいきます。また、より多くの地域住民や児童生徒がまちづくり活動の主役になれるよう、地域ぐるみで楽しめる活動を企画していきたいと思っています。